

この地区にある約110mの行き止まり路地は、木造住宅が密集し、消防車も入れません。そこで沿道住民と足立区が協議して、「逃げないで済む、災害に強いまちづくり」をコンセプトに取り組みを開始し、防火貯水槽、消火栓、ゲートシャワーが設置されました。また、緑とうるおいを創出することも考慮され、防火貯水槽の水を活用した「湧水池」が置かれるとともに、路面の再舗装によって、路地沿いの生け垣との一体感が生まれています。

路地の家屋を火災から守るゲートシャワーを常に使える状態にするための設備点検、保守点検や、日常の用心、清掃活動、さらには消火訓練、救急救護訓練なども地域の住民によって自主的に続けられています。地域住民の

一人一人が、得意分野や生活サイクルによってできることを自主的に分担しており、規則に縛られず自主的にやってきたことが、活動を今日まで続けてこられた秘訣のようです。

これらの防災路地を守る活動によって、沿道住民の良好な地域コミュニティも育まれています。最近では、災害に強く皆で守る下町の路地を未来に受け継ぐため、子供たちの参加も積極的に呼びかけています。



防災路地



ゲートシャワーによる放水の様子



路地に備え付けられた消火栓

- ①東京都足立区関原二丁目48番
- ②東武伊勢崎線 西新井駅から徒歩約15分
- ③西新井大師
- ④四ツ葉会他：防災性の向上（防災・消火訓練、救急救護活動、他都市防災まちづくり視察・勉強会）、住環境の維持保全
- ⑤足立区 都市整備部 密集地域整備課
電話番号 03-3880-5181

